

1 Chapter  
一人ひとりに  
合わせた指導で  
目標達成をめざす

2003年に男女共学の中等教育学校としてスタートした同校。2007年に開設された「スーパー特進Eコース」の1期生が卒業した今年、卒業生の3人に1人が国立大学現役合格を果たしました。そして2013年度、これまでの成果と今後のニーズに合わせて



コースを一新します。難関国立大学をめざす「Eコース」「S選抜コース」、国立大学・有名私立大学をめざす「Sコース」の3コースで進む進路へと導きます。新コースについて校長の岡川啓司先生にお話をうかがいました。  
「基礎学力をつけるため、3コースとも1・2年のうちは同じカリキュラムを進みます。ただし、コース別習熟度に合わせた内容を学習



新コースで志望大学合格を目指し  
未来を見すえた多彩な取り組みで  
国際社会で活躍する人物を育成

2 Chapter  
20年後を見すえ  
仲間と  
チャレンジする  
喜びを実感させる

同校の全生徒は、英語・数学・漢字の「3種検定」に挑戦します。1〜3年次、これらの「3種検定」ですべて「3級」を取得することを、トリプルスリー、4〜6年次で「2級」を取得することを、トリプルツー、と称して、その荣誉をたたえています。そして、2級以上の上級生が下級生を指導する「スーパーバイザー制度」を設置。部活動や行事だけでなく、教科学習でも学年を越えた交流をします。

校長・岡川啓司先生



2010年に「ユネスコスクール」として認定された同校。1〜3年次の総合的な学習の時間に「環境教育」や、生徒による「職業紹介発表会」（2年生から1年生へ）、「海外研修旅行報告会」（3年生か

ら1・2年生へ）を行い、調べ学習やプレゼンテーションを通じてコミュニケーション力や論理的思考力を養っています。  
1・2年の「環境教育」では、世界自然遺産の知床や屋久島を調べ、動植物の生態系を崩す地球の温暖化や観光地のゴミ問題などについて考えるポスターを作成。同校では太陽光発電システムを導入し、マイボトルを配布してペットボトルの削減に努めるなど、積極的にエコ環境活動に取り組んでいます。世界自然遺産の観光地化の是非について議論することもあり、低学年でしっかり意見を発信する機会をつくり、4年の後半から本格的に始まるディベートへとつなげています。昨年度は、スーパーのレジ袋の有料化などについて行いました。また、3年で「オーストラリア研修旅行」、5年で「ヨーロッパ研修旅行」を行い、事前・事後学習を含めて国際教育の場としていきます。2度の海外研修は、多感な成長期に視野を広げ、国際社会への興味・関心を持つきっかけになることでしょう。  
昨年度からは「学問探究団 RYS」と題して、論より証拠（RYS）をモットーに希望者を募り、大学の研究室や新聞社、病院

します。「E」は3年から応用力を養いながら、4年で文理選択を行い、目標の難関国立大学に対応した、ハイレベルな学習に取り組みます。「S選抜」は、入学時こそ成績で「E」と分けていますが、3年で「E」と合流するため、学習の基礎・基本をしっかり定着させていきます。「S」は、3年で基礎を確実に定着させ、後期課程に備えます。そして一人ひとりに合わせた指導で4年の文理選択につなげます。  
4年で文理に分けるのは、2015年度よりセンター試験で理科の出題科目が増加することになり、早期に授業数を増やして対応するため。コース変更は年1回、各年度の進級時に行われます。  
「1・2年は勉強の量や方法次第で急激に伸びるときなので、学ぶ楽しさやコツが分かれば「S」から「E」に移る生徒もいます。その逆もあるわけで、中学受験で疲れ果てて成績が下がらないよう、場合によっては強制的に勉強させるかもしれません。しかし、最初は上

などの外部施設の見学、裁判所の傍聴などを企画。教科書で学んだことに実際に触れる機会を設け、さまざまな学問に直接アプローチしています。こうして完全6カ年一貫校ならではのゆとりを生かし、大学受験への取り組みだけでなく、物事を深く考える力を培い、20年先の、そのまた先を見すえ、国際社会で活躍できる人物を育成しているのです。

大阪学芸中等教育学校



手くいかなくても、がんばれば必ず上をめざせることを、毎年着実に伸ばしてきた本校の進学実績が証明しています。  
コースが改編されても、きめ細かな指導、充実した教育課程、強い絆で結ばれる友人関係、各種検定へのチャレンジや職業観の養成など、6年間を通じて、生きる力としての学力、を育む姿勢は変わりません。

新コース概要

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
Eコース	1クラス	1クラス	Eコース 2クラス	理系	理系	理系
S選抜コース	1クラス	1クラス		文系	文系	文系
Sコース	2クラス	2クラス	2クラス	理系 文系	理系 文系	国立型 or 私立型

難関国立大  
国立大  
有名私立大

**POINT**

“授業第一主義”を合言葉に  
1・2年で基礎学力を徹底

“授業第一主義”をスローガンとして、日々の授業に取り組んでいる同校。1・2年では週37時間の授業時間のもと、個別指導を含めて徹底的に基礎学力を定着させています。「本校では小学校時代の学力が低くても、1・2年次で飛

躍的に伸びる生徒を多く見てきました。この時期の指導は非常に大切で、ただ「勉強なさい」と言うのではなく、まずは小さな目標をおき、達成できたら次をめざすという、モチベーションを持たせるさまざまな工夫をしています。  
(岡川先生)  
たとえば、授業の理解度や定着度を図るため、定期考査2週間前になると学習を計画的に行い、成果を上げる「学芸ノート」を配布。生徒自ら現状を分析して課題を見つけ、次回に克服するための計画を立て、実行することをくり返し、学力の向上を図っています。